

3回シリーズ **多文化共生**を考えよう！

第2回

外国の人^{たち}と創^る日本の未来

信州大学グローバル化推進センター教授 佐藤友則さんと

NPO法人 CTN (中信多文化共生ネットワーク)職員 丸山 文さんのお話

詳しくは裏面をご覧ください



12/1
(日)

13:30開場 14:00～16:30
松本市中央公民館Mウイング3-2 [定員100名]

信州自遊塾会員/CTN会員/学生：無料
一般：500円

主催：信州自遊塾 協力：NPO法人 CTN(中信多文化共生ネットワーク)

後援：松本市・安曇野市・塩尻市・信濃毎日新聞社・市民タイムス

【問合せ/申込み】 090-4463-6182(くぼた) 090-4911-8209(まつもと)

信州自遊塾HP<http://www.jiyujuku.org/>「講座申込フォーム」 or FAX 0263-77-5437 (一般の方は連絡先をご記入ください)

日本は、日本語を話す日本人が住んでいる単一民族の国だと多くの人が思っていますが、多くの国では国籍や人種が違う人が同じ国に住み、普通に暮らしています。今後グローバル化や人口減少が進む中で、日本も同様にさまざまな国や地域の人たちが住むようになっていくでしょう。「多文化共生」とはお互いの文化を尊重して、ともに気持ちよく暮らしていくことです。私たちがそれぞれの国や民族の文化を理解することは、国際平和のためにもきわめて重要なことではないでしょうか。新しい時代をどう生きるかについていっしょに考えてみませんか？



佐藤友則 SATO, Tomonori

NPO法人CTN(中信多文化共生ネットワーク) 理事長・信州大学グローバル化推進センター教授。商社勤務を経て1991年に東京の日本語学校で日本語教師スタート。東北大・大学院に進学し、博士課程途中から韓国に渡り、国立大で3年間日本語ほか指導。帰国して1999年から信州大学に勤務。今年で信大生活20年目。また、2008年に外国由来の子供の現状を憂う仲間たちと市民団体「CTN(中信多文化共生ネットワーク)」を設立し、理事長に就任。2010年にNPO法人化。発足11年目の現在、CTNは松本市から2つの多文化共生の事業(松本市子ども日本語教育センター&松本市多文化共生プラザ)を委託されるなど広範囲に活動中。2017年多文化共生の活動で長野県知事表彰。



丸山 文 MARUYAMA, Fumi

長野県諏訪市出身。高校卒業後アメリカに留学。2007年にコロンビア大学大学院にて、ソーシャルワーク修士号を取得。学生時代から、難民や移民の支援活動に携わる。

卒業後はニューヨーク州ソーシャルワーカー免許を取得し、米国の難民支援団体にコーディネーターとして約5年勤務。2011年に帰国後、NGOからの派遣員として国連高等難民弁務官駐日事務所にて調査活動を行う。2012年よりNPO法人CTN(中信多文化共生ネットワーク)が松本市から受託運営している松本市多文化共生プラザにてコーディネーターとして在住外国人の支援に携わっている。信州大学および松本大学にて非常勤講師としても勤めている。



第3回のおしらせ

2020年2月29日(土)

「先進事例から学ぼう！」(仮題)

アジアと欧米、各2か国(韓国・台湾・イギリス・イタリア・ドイツなどが候補)の取り組みや事例を見つめて、日本が学ばべきことは何かを探ります。詳細は2020年1月下旬頃に公開。乞うご期待！！

12月1日(日)

13:30開場14:00~16:30

松本市中央公民館Mウイング3-2

[定員100名]

第2回

外国の人たちと創る 日本の将来

【第1部】佐藤友則さんのお話

「日本の現状と
多文化共生による未来」

国全体および長野の外国由来の子どもや、
労働者の現状について語る。

【第2部】丸山 文さんのお話

「多様性が活かされる共生社会へ

-相談の現場から見えること-

松本市多文化共生プラザで日々具体的な相談を受けている立場から語る、共に考えてほしいこと。

「質疑応答」

丸山さんのお話後、お二人への質問タイム。

信州自遊塾とは、だれもが参加できる、3.11以降の生き方を学び考える場です。信州を愛する人の中には、それぞれの分野ですばらしい行動を行い、ものを考え、作りだしている人がたくさんいます。「信州自遊塾」はこうした人々のネットワークをつくり、講座・エクスカーション(小旅行講座)などで新しい人間の幸せを、まじめに楽しく、考え、学ぶ場です。活動はホームページでお知らせしています。

※第1回の講座レポートはホームページで公開中！ 信州自遊塾で検索！！

～これからの人間の生き方を考えよう～

信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>